

# Kofax TotalAgility

リリース ノート

バージョン: 7.8.0

日付: 2020-08-04

**KOFAX**

© 2020 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

# 目次

第 1 章: このリリースについて.....	7
バージョン情報.....	7
TotalAgility ドキュメントにアクセスする.....	7
オンライン ドキュメント.....	7
オフライン ドキュメント.....	8
第 2 章: 新機能.....	11
TotalAgility.....	11
Quick Capture.....	11
インストール.....	11
InPlace エディタのキャプチャ.....	12
カスタム サービス.....	12
複合変数ノード.....	13
タイル コントロール.....	13
タグ付け.....	13
日本語へのローカリゼーション.....	13
API.....	13
フォーム バッチ アクション.....	14
Web Capture Service: 下位互換性.....	14
オンライン学習システム タスクを実行する .NET SDK 関数.....	14
一般的な機能強化.....	14
Transformation Designer.....	22
OmniPage 認識エンジン.....	22
段落検出.....	22
テーマ ロケーター - 自然言語処理.....	22
サマリー ロケーター - 自然言語処理.....	22
Message Connector.....	23
追加ログの有効化.....	23
IMAP のサブフォルダのポーリング.....	23
スケーリング サイズの追加.....	23
TLS 1.3 のサポート.....	23
NTLM を使用した認証.....	23
RightFax REST Web API に追加されたサポート.....	23
1 つの Message Connector を持つ複数のインポート ソース.....	23
TotalAgility コンピュータ上の複数の Message Connector.....	24

1 つのインポート接続での FOIP と SMTP の構成.....	24
MS Graph のセキュリティ強化.....	24
アーカイブ内のフォルダの無視.....	24
ドキュメント変換アクティビティごとの高度な変換設定.....	24
XLS、CSV での列の自動サイズ変更のサポート.....	24
ローカリゼーション.....	24
<b>第 3 章: 動作の変更.....</b>	<b>25</b>
サポートが終了したオペレーティング システム.....	25
Adobe Experience Manager 出力サービス URL.....	25
Designer のナビゲーション: セクションを折りたたむ.....	25
Web サービス統合における認証の表示方法の更新.....	25
シミュレーション関連のプロパティ.....	26
KM MFP のシステム タスク.....	26
同期アクティビティが失敗しました - EXP0027 例外.....	26
システム クエリ/チャート.....	26
新しいデータベース スクリプト.....	26
値を元に戻す機能が削除されました.....	26
非推奨となった機能または削除された機能.....	27
自動割り当ておよび割り当てアルゴリズム.....	27
RecoStar および FineReader エンジン.....	27
コラボレーション ノードとメッセージ フロー.....	27
削除予定の機能.....	27
<b>第 4 章: 解決された問題.....</b>	<b>28</b>
抽出グループのリリースに関する問題.....	28
グローバル フィールド バリデータが正しい順序で実行されない.....	28
フォームの小数点区切りカンマの問題.....	28
非表示のセルのラジオ ボタン リストによる検証の発生.....	28
Agility.Server.StreamingService.exe の失敗.....	28
ジョブ リスト コントロールのエラー.....	29
コントロールの列の幅が正しく表示されない.....	29
SharePoint でメタデータが設定されない.....	29
Message Connector ドキュメント内の情報の欠落.....	29
CreateJobInCase: 評価に失敗しました.....	29
PNG ファイルのイメージ処理アクティビティの問題.....	29
GetJobVariable メソッドの問題.....	29
バーコード値とチェックサム.....	30
TDS モデルの失敗.....	30
前提条件ガイドのフォルダのアクセス許可パスが正しくない.....	30

ドロップダウン リスト コントロールの問題.....	30
PDF から TIFF への変換に関する問題.....	30
ジョブの評価の失敗.....	30
テーブル評価が機能しない.....	30
セッション タイムアウトのアラート メッセージに改行タグが表示される.....	31
継承の問題.....	31
ArchiveJobTask がタイムアウトする.....	31
再生成されたアクティビティ フォームに関する問題.....	31
Message Connector の winmail.dat ファイルの解析に関する問題.....	31
PATHEXT 環境変数で .BAT パラメータが欠落する.....	31
ジョブの評価中の null 参照.....	32
deletejobhistory メソッドの履歴の記録で大きなジョブがチャンクされない.....	32
モバイル フォーム テーブルが表示されない.....	32
Data matrix バーコードの認識の問題.....	32
TotalAgility で Kofax RPA アクティビティが構成されている場合のエラー.....	32
プロセス マップを保存または解放できない.....	33
問題のあるエラー メッセージ (ドイツ語).....	33
DB 接続結果画面で、DB 作成者アクセスが要求される.....	33
キャプチャ アクティビティ タイプがビジネス ルールに表示されない.....	33
ジョブを再開したときのアーカイブの問題.....	33
添付ファイルのソース ファイル名の欠落.....	34
GetWorkQueueOverview API による SQL インジェクションの許可.....	34
フォーム セルに適用されないスタイル.....	34
テーブルの列のマッピング時の問題.....	34
カスタム作業キューがエラーを返す.....	34
カテゴリ ドロップダウンのサイズの問題.....	34
アドバンスド エバリュエータの継承の問題.....	34
@ エスケープ文字を使用するとアップグレードに失敗する.....	35
QR バーコードの認識.....	35
ジョブの保持で、削除するケース フラグメントが見つからない.....	35
必須アクティビティ フィールドに設定が誤って適用される.....	35
文字列変数から byte[] パラメータへのマッピングの問題.....	35
ResetDefaults をクリックしてもデフォルト値がクリアされない.....	36
ケース フラグメントを選択できない.....	36
サブジョブで使用すると XML アクティビティが一時的に停止される.....	36
Message Connector の期限超過状態のパッシブ入力.....	36
アクティビティ再割り当ての監査ログ エントリが正しくない.....	36
アップグレード エラー メッセージに情報が表示されない.....	36

DBQuery アクションで行のカウントを使用できない	36
作業キュー クエリの作業タイプ日付フィールドの問題	37
リダイレクト アクションの問題	37
ドキュメントの取り込み後のフィールドの欠落	37
アンバサンドを含むテキスト文字列の問題	37
自動生成されたドキュメント フォームに関する問題	37
キャッシュされたフォームに関する問題	37
ドロップダウン リストの表示の問題	37
自然言語処理の信頼度の問題	38
自然言語処理ロケターのエラー	38
Microsoft Edge での大きなデータ パッケージの抽出に関する問題	38
名前付きエンティティ ロケターの強調表示の問題	38
名前付きエンティティ ロケターにエンティティがない	38
名前付きエンティティ ロケターにスクロール バーがない	38
トレーニング抽出での不要なウィンドウ	39
エンティティの抽出に失敗する	39
テーブル ロケターの問題	39
セクションのサインイン パスワードによるフォルダのインポートの問題	39
テナント データベースの問題	39
GetWindowsUser() が分散システムでアプリ プール ユーザーを返す	39
プロセス マップに公開されていないドキュメント セットとの関連付け	40
HP FutureSmart 4 MFPs: 紙詰まりを修正した後の空の画面	40
FAX インポート ソースに関する Internet Explorer の問題	40
ドイツ語の言語パックをインポートしたときの問題	40
スキャン アクティビティを使用した分割ログインで有効なエラーが表示されない	40
<b>第 5 章: 既知の問題</b>	<b>41</b>
Canon ScanFront デバイスでのスキャン時のエラー	41
ネットワーク ケーブルが接続されていない場合、HP MFPs でジョブ ステータスが更新されな い	41
統合の関連付けの表示に関する問題	41
A2iA Document Reader のパフォーマンスの低下	42
パスに「totalagility」が指定されている場合の HP クライアントの問題	42
Lexmark イメージ プレビューで [削除] ボタンに一貫性がない	42
OCR エンジン/言語の手書きのサポート	42

## 第 1 章

# このリリースについて

このリリース ノートには、TotalAgility 7.8.0 に関する情報が記載されています。このドキュメントには、他の製品ドキュメントには含まれない情報が含まれている可能性があるため、注意深くお読みください。

## バージョン情報

TotalAgility 7.8.0 のビルド番号は 7.8.0.0.0.377 です。

ビルド番号を確認するには、TotalAgility Designer を起動して、[システム] > [システム設定] に移動します。

バージョン情報は、[システム設定] ページの右下に表示されます。最後の 3 桁はビルド番号に対応しています。

## TotalAgility ドキュメントにアクセスする

Kofax TotalAgility ドキュメントには、オンラインおよびオフライン モードでアクセスできます。

### オンライン ドキュメント

Kofax TotalAgility 7.8.0 の製品ドキュメントは、次の場所から入手できます。

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KTA/7.8.0-dpm5ap0jk8/KTA.htm>

製品のインストール済みバージョンのオンライン ヘルプを起動するには、アプリケーションの [ヘルプ] アイコンをクリックします。

#### 注

- TotalAgility 7.8.0 を以前のバージョンからアップグレードするときに Workspace ヘルプをオンラインで表示するには、[システム Workspace パッケージのインポート] チェック ボックスが選択されていることを確認してください。このチェック ボックスが選択されていない場合は、TotalAgility のアップグレード時に TotalAgility Workspace パッケージから WorkspaceHeader フォームをインポートする必要があります。

## オフライン ドキュメント

ドキュメントにオフラインでアクセスするには、[Kofax フルフィルメント サイト](#)からドキュメントをダウンロードできます。言語ごとに、個別のドキュメント パッケージを圧縮ファイルとしてダウンロードできます (英語は KofaxTotalAgilityDocumentation7.8.0\_EN.zip、フランス語は KofaxTotalAgilityDocumentation7.8.0\_FR.zip など)。

英語の .zip ファイルには、help と print の両方のフォルダが含まれています。print フォルダには、インストール ガイドや管理者ガイドなどのすべてのガイドが含まれています。他の言語の .zip ファイルには、ローカライズされたヘルプ ファイルのみが含まれています。

次の手順は、英語の TotalAgility ドキュメントにオフラインでアクセスする方法を示しています。

1. Kofax フルフィルメント サイトから、該当する英語の documentation.zip ファイルをダウンロードします。

2. 圧縮されたドキュメント ファイルの内容を抽出し、以下の操作を実行します。

注 分散環境では、Web サーバーでファイルのコピーを実行し、アプリケーション サーバーおよび Web サーバーで Web.config を変更します。

- TotalAgility\_help\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help\TotalAgility\_designer
- KTAW\_EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help
- KTAWCC\_EN フォルダの内容を以下にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help
- ProjectBuilder\EN (Transformation Designer) フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
<%ProgramFiles%>\Kofax\Transformation\Help\en\_US\
- TotalAgility\_opmt\_help\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web.TenantManagement\TenantManagement\Help
- TotalAgility\_quickcapture\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help\QuickCapture

注 Quick Capture フォルダは、デフォルトでは使用できません。Help フォルダ内に「QuickCapture」フォルダを作成し、その内容をフォルダにコピーします。

- TotalAgility\_KEC\_help\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help\ExportConnector\_help
- ThinClientServer フォルダ内のアクティビティ (CEBPM\_scanclient\_help\ENなど) フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Forms\Controls\Capture\Help
- KFS\_adminconsoleTA\EN (デバイスのヘルプ) の内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\bin\Administrative\Help
- TotalAgility\_repositorybrowser\_help\EN の内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help\TotalAgility\_repositorybrowser
- SDK\_Documentation フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\TotalAgility\Agility.Server.Web\Help\API
- TotalAgility\_documentconverterhelp\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\Kofax\Document Converter\web\en\WebHelp
- KIC\_mchelp\EN フォルダの内容を次の場所にコピーします。  
\\Kofax\KIC-ED\MC\web\en\WebHelp

3. インストール フォルダに移動し、次の操作を行います。

- TotalAgility ヘルプとデバイス ヘルプの場合:

- a. テキスト エディタで、次の場所にある TotalAgility Web.config を開きます。

\\TotalAgility\Agility.Server.Web

- b. <appSettings> セクションを見つけ、キー値から `http://docshield.kofax.com/KTA` を削除します。<add key="OnlineHelpURL" value="http://docshield.kofax.com/KTA"/>。

または、構成ユーティリティ (インストール メディアの \\TotalAgility\Utilities\ConfigurationUtility から入手可能) を実行し、OnlinehelpURL 設定からオンラインヘルプの URL を削除します。

- Kofax エクスポート コネクタ ヘルプの場合:

- a. テキスト エディタで、次の場所にある Agility.Server.ExportConnector.exe.config を開きます。

\\TotalAgility\Agility.Server.Web\bin

- b. <appSettings> セクションを見つけ、キー値から `http://docshield.kofax.com/KTA` を削除します。<add key="OnlineHelpURL" value="http://docshield.kofax.com/KTA"/>。

- Message Connector ヘルプの場合:

- a. テキスト エディタで、次の場所にある configuration.xml を開きます。

\\Kofax\KIC-ED\MC\web

- b. <OnlineHelp>1</OnlineHelp> セクションを見つけ、1 を 0 に置き換えます。

- ドキュメント コンバータのヘルプの場合:

- a. テキスト エディタで、次の場所にある configuration.xml を開きます。

\\Kofax\Document Converter\web

- b. <OnlineHelp>1</OnlineHelp> セクションを見つけ、1 を 0 に置き換えます。

4. 構成ファイルを保存して閉じます。

[ヘルプ] アイコンをクリックすると、インストールされている製品のヘルプが起動されます。

## 第 2 章

# 新機能

この章では、TotalAgility 7.8.0、および Transformation Designer や Message Connector などの関連コンポーネントに含まれる機能と拡張機能について説明します。

## TotalAgility

このセクションでは、TotalAgility 7.8.0 の新機能と拡張機能について説明します。

### Quick Capture

Quick Capture は、ビジネス ユーザーがトレーニングを必要とせずにキャプチャ ソリューションを簡単に作成できるようになる新しい設計環境です。ビジネス ユーザーは、サンプル ドキュメントをアップロードしてトレーニングし、データを抽出して、それらの処理に使用するワークフローを設計できます。このワークフローには、ドキュメント レビュー、検証、確認、再スキャン、およびドキュメントをダウンロード可能にすることが含まれます。公開されたキャプチャ ソリューションは Workspace 内からアクセスできるため、ユーザーは簡単にスキャンを開始できます。

Quick Capture ソリューションには、Designer から直接アクセスできる TotalAgility も一部含むため、より複雑な機能をサポートするように簡単に拡張できます。

Quick Capture Designer は、Kofax TotalAgility 7.8.0 をインストールするか、Kofax TotalAgility On-Premise 7.8.0 にアップグレードすると、スタート メニューから利用できます。オンプレミス マルチテナント環境または Azure 環境に Kofax TotalAgility をインストールしてテナントを作成すると、テナントが TotalAgility Designer へのアクセス権を持つ場合に、Quick Capture Designer へのリンクが電子メールで送信されます。

### インストール

TotalAgility 7.8.0 では、次のインストール機能を使用できます。

#### キャプチャ データ用のクラウド ストレージ

デフォルトでは、ドキュメントのキャプチャ、.NET Store DLL、KCM パックなどのバイナリ データは TotalAgility データベースに保存されます。Amazon S3 や Windows Azure Blob ストレージなどの事前構成済みの外部クラウド データ ストレージ サービスを使用して、バイナリ データを保存および処理できます。クラウド サービスは、SQL Server のメンテナンス コストを削減し、メンテナンスを外部サービスに委任して、暗号化する場合に役立ちます。クラウド ストレージを有効にすると、後で無効にすることはできません。

### データベース接続のテスト

TotalAgility のインストール時に、既存のデータベースを使用することを選択した場合、新しいオプション [接続のテスト] を使用してデータベース接続をテストし、データベース接続が有効であることを確認できます。データベースが利用できない場合、エラーが報告されます。

### TotalAgility データベースのアップグレード

TotalAgility のオンプレミスおよびオンプレミス マルチテナント インストールについては、TotalAgility がローカルにインストールされていない場合、[Upgrade Databases] (データベースのアップグレード) オプションが TotalAgility インストーラで有効になり、すべてのデータベースが最新バージョンの TotalAgility にアップグレードされます。アップグレード オプションは、TotalAgility 7.4.0 以降で作成されたデータベースでのみサポートされます。

### Express installation (高速インストール)

標準のインストーラ ウィザードを使用した TotalAgility オンプレミス インストールの場合、新しいインストール タイプ [Express installation] (高速インストール) を使用できるようになりました。これにより、最小限のユーザー操作を必要とするすべてのデフォルトの設定で TotalAgility をインストールできます。高速モードでは、Web アプリケーション サーバー、SQL Express、および Transformation Server の組み合わせがインストールされます。TotalAgility のインストール中またはインストール後にライセンス サーバーを構成できます。高速インストールには制限があるため、本番環境ではこのインストール タイプを使用しないことをお勧めします。

### NLP (Natural Language Processing, 自然言語処理) 言語バンドルのインストーラ オプション

Docker コンテナを使用して TotalAgility をデプロイする場合、エンジン (特に NLP コンポーネント) がインストールされているため、Transformation Server コンテナのサイズは非常に大きくなります。その結果、イメージの合計サイズは約 40 GB になる可能性があります。インストールした製品 (ディスク上) のサイズを削減するために、オンプレミスとオンプレミス マルチテナント インストールで、NLP 言語バンドルのサイレント インストール構成ファイルに次のインストーラ オプションが追加されました。

- **NlpWestern:** 英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語の自然言語処理言語バンドルをインストールします。
- **NlpWesternExtended:** イタリア語、ルーマニア語、オランダ語の自然言語処理言語バンドルをインストールします。
- **NlpExtended:** 日本語、中国語、韓国語の自然言語処理言語バンドルをインストールします。

## InPlace エディタのキャプチャ

InPlace Editor は Validation Client のパネルで、ドキュメント フォームの周りでフォーカスを移動する代わりに、フィールドとイメージ スニペットをパネル全体で回転させることができるようになりました。これは、物理的なフォーカス位置を画面上で保持する場合に役立ちます。

## カスタム サービス

新しいビジネス プロセス タイプ [カスタム サービス] が、ワークフロー メニューから使用できるようになりました。これにより、プロセス、ビジネス ルール、ケースの定義、またはフォーム内で使用できるカスタム ロジックを提供できます。カスタム サービスは自動アクティビティのみをサポートし、手動アクティビティはサポートしていません。

カスタム サービス内で使用できるカスタム サービス グループを作成できます。カスタム サービス グループ内から Web サービス レファレンスとサーバー変数を追加して、カテゴリに保存できます。

新しいアクティビティ [カスタム サービス] は、ビジネス プロセス、ケースの定義カスタム サービス、およびビジネス ルールで使用可能な自動アクティビティです。

新しいアクション [カスタム サービス] は、ボタンやテキスト ボックスなどのフォーム コントロールで使用できます。

## 複合変数ノード

新しいノード タイプ [複合変数] が追加され、複合変数の内容を簡単に操作できるようになりました。行を追加、削除、取得し、行内のセルの値を更新することができます。

複合変数ノードはクエリ内で使用できます。Designer または Workspace でシステム クエリを作成または変更すると、アクティビティ タイプ フィルタで複合変数ノードを使用できるようになります。クエリを実行すると、定義したとおりの正しいデータが返されます。

複合変数の構成中に列のタイプを更新できます。タイプを変更すると、その列内のすべてのセルの値が破棄されるため、タイプに応じて値を指定することができます。

## タイル コントロール

[タイル] コントロールでは、クエリから返された合計がダッシュボード上にコンパクトに表示されるようになりました。[タイル] コントロールにイメージを含めて、コンテンツをより細かく制御できます。

## タグ付け

アイテムにタグを付けて、特定のタグが付いているアイテムを簡単に見つけることができるようになりました。たとえば、プロセスには統合を表すタグが含まれる場合や、ソリューション内で使用されるすべてのアイテムにソリューション名のタグが含まれる場合があります。

## 日本語へのローカライゼーション

すべてのユーザー インターフェイス、オンライン ヘルプ、ドキュメントなどの TotalAgility の設計環境は、日本語にローカライズされました。

インストール プログラムと設定エディタは、将来のリリースでローカライズされる予定です。

除外:

- API リファレンス システム (ソース コードから生成)
- Kofax MFP 管理者ガイド (ベンダー別)
- KC/KTM コンバータ ツールとガイド
- サポート理由の診断メッセージ (スタック トレース、デバッグ ログなど)
- Visio アドイン
- Outlook アドイン
- SharePoint Web ページ

## API

以下の新しい API が追加されました。

#### フォーム用の複合変数ヘルパー API

フォームに、複合変数ヘルパー JobService API を使用できるようになりました。これらの API を使用すると、フォーム内のテーブルにマッピングすることで、複合変数を取得および更新できます。

#### フォルダまたはドキュメント API のエクスポート

この API は SDK CaptureDocumentService で使用できるようになりました。この API を呼び出して、Quick Capture 内のエクスポートごとにファイルを自動的に準備し、ファイルをディスクにダウンロードできます。

#### マシンとそのタイプ/ステータス API の取得

このドキュメント化された API は、マシン ID、マシン名、サービス タイプ、アクティブ/非アクティブステータスなど、システム上のすべてのマシンのリストを返します。

オンプレミス マルチテナントの場合、API は統合サーバーで実行されているアクティビティから実行されます。

## フォーム バッチ アクション

フォーム アクションをデプロイする場合、TotalAgility は、サーバーで実行される複数の連続したフォーム アクションをバッチ処理して単一の HTTP リクエストにまとめ、可能な限り最高のパフォーマンスを提供します。HTTP リクエスト内のアクションの各バッチは、クライアント ブラウザに結果を返す前にサーバーで実行されます。サーバー側フォーム アクションのシーケンス内で混合されたクライアント側フォーム アクションを使用した場合、クライアント側フォーム アクションがサーバー側フォーム アクションのセットの中間に配置されていると、アクションのバッチが分割される可能性があります。これにより、サーバー側のフォーム アクションのバッチごとに 1 つずつ、複数の HTTP リクエストが発生します。

## Web Capture Service: 下位互換性

ユーザーは Web Capture Service (WCS) の更新を強制されることなく、古いバージョンの WCS を新しいバージョンのスキャン クライアントで使用できるようになりました。これは、最新のサービス パッケージレベルのリリースまでに適用されます。古いバージョンの WCS は、WCS のデプロイメントが大規模で完了するまでに数週間または数か月間かかる可能性がある場合に役立ちます。すべてのワークステーションを正しいバージョンの WCS として同時に更新することで、コストの増加を防ぐことができます。古いバージョンの WCS を使用する場合、新しいバージョンの WCS で導入された新機能やバグ修正は機能しません。

## オンライン学習システム タスクを実行する .NET SDK 関数

新しい .NET SDK 関数が使用可能となり、フォーム アクションで使用すると、オンライン学習システム タスクがすぐに実行されます。このように、TotalAgility を使用するユーザーは明示的にオンライン学習を実行でき、システム タスクの発生を待つ必要がなくなりました。

## 一般的な機能強化

### クイック作成: 通過ポイント トリガー プロセス

新しいリンク [新しいプロセスを作成する] を使用すると、プロセス、通過ポイント トリガー、プロセス トリガーの作成時に例外プロセスとして使用されるプロセスをすばやく作成できます。

プロセス、トリガー、またはシステム レベルで例外を構成する場合に、新しく追加されたこのリンクをクリックして、例外プロセスを簡単に作成できるようになりました。このプロセスは正しいパラメータで作成され、自動的に選択されます。

フィールド フォーマッタを構成する場合に、新しく追加されたこのリンクをクリックすることで、新しく構成されたビジネス ルールを簡単に作成でき、必要となる労力を削減できます。

## 関連付けられたアイテムの表示

関連付けが製品全体に拡張され、他のアイテムに影響を与えるアイテムを簡単に識別できるようになりました。

プロセス、フォーム、リソース、ペルソナ、抽出グループ、分類グループ、リソース、スキン、ドキュメント/フォルダ タイプ、プロファイル (スキャン/VRS、分割、PDF、ドキュメント変換)、クエリ、フォーマッタ、サーバー変数、グローバル変数、ナビゲーション メニュー、カスタム サービス、および統合などの関連付けを表示できます。

ビジネス ルールの関連付けが拡張され、抽出グループ (ドキュメント タイプの検証とフィールドの検証として使用)、フォルダ (フォルダ タイプの検証とフィールドの検証として使用)、フィールド フォーマッタ、フォーム、フォーム テンプレートのビジネス ルールの関連付けを表示できます。

## すべてのダイアログ ボックスの標準エスケープ機能

標準のエスケープ機能は、TotalAgility Designer のすべてのダイアログ ボックスで使用できます。**Esc** キーを押すと、フォームの設計中に現在のダイアログ ボックスを閉じることができます。変更を保存するためのプロンプトが表示されます。

## ナビゲーション、ルックアップ、正規表現のコピー オプション

コンテキスト メニューの [コピー] オプションを使用して、ナビゲーション メニュー、ルックアップ、および正規表現のコピーを作成できるようになりました。

## 汎用エクスポートの警告

誤って有効化してしまうことがないように、[汎用エクスポート] を有効にすると警告が表示されるようになりました。選択の確認後にのみ続行できます。

## ファジー検索のキャプチャの機能強化

### 検索構成の機能強化

検索構成のオプションがファジー検索用に拡張され、ユーザーの効率が向上しました。拡張オプションは次のとおりです。

- [ファジー検索] フィールドには、インデックス フィールド値が事前に入力されます。
- ファジー検索を特定の列に限定できます。
- [ファジー検索] ポップアップを開くと、検索フィールドがフォーカスされます。

「ファジー ルックアップ」フォーム アクションを構成する場合、フォーム コントロール、変数、または手動入力値を割り当てて、「ファジー ルックアップ」ポップアップ ウィンドウのデフォルトの検索文字列として使用できます。

### 列幅の定義

ファジー検索を起動するときに、ポップアップ ウィンドウの列幅をカスタマイズできるようになりました。これにより、毎回手動でサイズを変更するのではなく、予想されるコンテンツが表示されるように列のサイズを適切に設定できるため、ユーザーの効率が向上します。

ポップアップ ウィンドウ全体の幅と高さをピクセルまたはパーセントで定義し、各テーブル列の列幅をピクセルまたはパーセントで定義できます。

### 表示される列の構成

Designer では、列ヘッダーにわかりやすい名前を付けることができるようになりました。これにより、ユーザーの効率が向上し、適切な順序で必要な列のみを表示できるようになります。

### 検索中および検索後のユーザーへの情報メッセージ

視覚的なフィードバックまたはアラート メッセージを使用して、検索が進行中であるか、または検索の実行によって結果が返されなかったかを表示することができます。

## デバッグの機能強化

### プロセスのデバッグ: 使いやすさの向上

[ここから再起動] および [次を再起動] アクションの実行時に、不要な確認プロンプトを表示することなく、プロセスをデバッグできるようになりました。また、状態、通過ポイント、およびイベントのツールバー ボタンは、何も構成されていない場合に無効となります。

### プロセスのデバッグ: ジョブの履歴の表示

新しいオプション [ジョブ履歴を表示] が、プロセスのデバッグ時に使用できるようになりました。このオプションをクリックするとジョブの履歴が表示され、プロセスが現在の状態に到達するまでの詳細を確認できます。

### フォームのデバッグ: スキップするアクションの定義

フォームをデバッグする場合に、フォーム実行内のアクションをスキップできるようになりました。たとえば、システムで構成されていない外部システムに接続している場合や実行にコストがかかる場合は、アクションをスキップできます。スキップされたアクションのステータスは、スタックトレースで [スキップ] として更新されます。

## クエリの機能強化

### クエリのセキュリティの向上

ジョブ リスト、作業キュー、システム クエリ用の Designer に [アクセス制御] タブが追加されました。クエリを実行、表示、編集、または削除するためのアクセス許可をグループまたは個々のリソースに与えることができます。クエリを、特定のユーザーまたはグループと共有できます。

以前のバージョンからアップグレードすると、クエリにリソースがリストされていない場合、クエリの所有者にフル コントロールが付与されます。

### クエリの拡張日付検索機能

新しいオプション [**@Today**] および [**@Today(+)(-)**] 日間を使用すると、特定の日付の入力に依存せずにクエリ作業タイプ内の日付フィールドの検索基準を生成できます。

同じオプションを作業キュー、ジョブ リスト、およびワークロード コントロールで使用できます。

## システム クエリのマシン名

TotalAgility Designer では、ワークロード コントロールで [完了した作業] オプションが有効になっている場合、システム クエリでマシン名を確認できます。これは、ボトルネックやパフォーマンスの低いマシンを特定するために使用できます。

「すべてのマシン」または特定のマシンで完了した作業を検索するシステム クエリを定義し、[GroupBy] またはカスタムの並べ替え API を使用するか、チャートのクエリを使用してマシン名でグループ化すると、実行時に定義したマシン名がクエリによって表示されます。

このオプションは、Azure またはオンプレミス マルチテナント環境の TotalAgility ではサポートされていません。これらの環境でこのクエリを実行すると、マシン名が TotalAgility にハードコードされます。

クエリの作成中におけるすべての列の選択または選択解除の許可

クエリを作成する場合に、すべての列をすばやく選択または選択解除できるようになりました。たとえば、2 つの列以外のすべての列が必要な場合は、各列を個別に選択するよりも、すべてを選択してからその 2 つの列を選択解除の方が簡単です。実行時にすべての列を表示するには、列ヘッダーの [表示] チェック ボックスを使用できます。

ツリーまたはドロップダウンでクエリを表示するオプション

ユーザーは、ドロップダウンまたはツリーからクエリを選択して、プロパティを再配置できるようになりました。アップグレード後は、ドロップダウンがデフォルトで選択されます。

## 日付変数での @Today のサポート

ビジネス プロセス、ビジネス ルール、スキン、およびフォームでは、@Today を使用して日付変数値を設定し、日数を加算または減算して現在の日付または過去/将来の日付を取得できます。たとえば、変数を @Today-7 などに設定することができます。

フォームのロード時、またはプロセスでジョブを作成する場合、あるいは [@Today] を使用して変数を持つルールを使用する場合に、変数の値は現在の日付 +/- で指定した日数に設定され、時間セグメントは 00:00:00 に設定されます。

## プロセスまたはルール変数のフィルタリングと並べ替え

プロセスまたはビジネス ルールで定義した変数を、[ID]、[タイプ]、[初期化]、入力、または [出力] で並び替えおよびフィルタリングできます。

## 式ノードの機能強化

追加の関数

- 数値の絶対値を計算する Abs (数値)
- 小数点以下の桁数 (2、0、3 など) に丸める Round (数値、数値)
- 指定された指数で累乗された数を計算する Pow (数値、数値)
- 2 つの日付/時刻値の間の差分を取得する MinutesDifference (日付、日付)
- URLEncoder (文字列)

エディタ ボックスのサイズ変更

式を設定するときに、右下にあるハンドルをドラッグしてエディタ ボックスのサイズを変更できるようになりました。

### プロセスでの式のテスト

[式] アクティビティで [テスト] ボタンを使用して式をテストし、結果と形式が期待どおりであるかどうかを確認できるようになりました。

## プールとレーン

プールとレーンを使用して、プロセスと参加者、およびプロセス内の領域を視覚的に表すことができるようになりました。プールへのレーンの追加、プール内のレーンの削除、またはレーンのサイズ変更と並べ替えが可能です。

## スキン リスト ページの機能強化

スキンのコンテキスト メニューを使用して、スキンのさまざまなバージョンを表示できるようになりました。さらに、関連するテンプレート、最終変更者、最終変更日付をスキン リスト ページで表示することができます。また、[ファイル] タブでプロセスごとにバージョン履歴を表示することもできます。

## ネストされたリスト: 子項目のツールチップでの親の名前の表示

ネストされたリスト ページでケースの定義、フラグメント、フィールドズーム設定、フォーム、ドキュメント、アクティビティのバリエーションを検索すると、子項目にツールチップの一部として親名が表示されるようになりました。ツールチップの名前は、特に同じ名前の項目が多数ある場合に、正しい項目を特定するために役立ちます。

## イベント内における複数のアクションの移動

Ctrl キーを押しながらクリックすると、イベント内で複数のアクションを移動できるようになりました。これは、Begin 条件と Else 条件の間でアクションを移動する場合に特に役立ちます。

## チャート コントロールの機能強化

### 収まるように展開のサポート

[収まるように展開] プロパティがフォームで有効な場合、このプロパティをチャート コントロールで使用できるようになりました。画面に収まるように、フォームに合わせてチャートを展開するという設定ができます。

アップグレードされたフォームで [収まるように展開] が有効になっており、最後の行にチャート コントロールが含まれている場合、この新しいプロパティは false に設定されます。

### ドリルダウン

[イベント] タブが [チャート] コントロールに追加されました。このタブをクリックすると、グラフに関する詳細が表示される別のフォームにリダイレクトされます。

## ワークロード コントロール: 利用可能な拡張アクション

フォームでワークロードの制御を設定する場合に、[アクティビティの取得]、[アクティビティの完了]、および [再割り当て] のオプションが使用できるようになりました。これらのオプションはオンまたはオフに設定できます。

実行時にワークロード制御を表示すると、これらのオプションが手動アクティビティの設定に応じて表示されます。アップグレードすると、これらの設定はデフォルトでオフになります。

## コントロール プロパティの更新アクション

[コントロール プロパティの更新] アクションを使用して、コントロールのプロパティを設定し、コントロールの表示または動作を動的に変更できるようになりました。このアクションは、タイル、作業キュー、ワークロード、およびジョブ リストにのみ適用されます。コントロールを選択すると、対応するプロパティが更新可能になります。

注 このアクションは、タッチ対応の電話およびタブレット用のフォームでは使用できません。これらのフォームは、ジョブ リスト、作業キュー、およびワークロードのコントロールをサポートしていません。

## .NET を使用した Kofax RPA との統合

Kofax RPA との統合を構成する場合、ロボットのグループを選択するための [クラスタ] オプションを使用できます。

## SignDoc: 署名方法「イメージで署名」のサポート

SignDoc アクティビティを構成する際に、追加の署名方法である [イメージで署名] を選択すると、ドキュメントの署名プロセス中に署名を含むイメージが使用できるようになりました。

## パッケージ内のフィールド バリデータのサポート

フィールド バリデータをパッケージに直接追加できるようになりました。

パッケージ内の [追加] リストを展開すると、[キャプチャ] の下にある [フィールド バリデータ] オプションが使用できます。このオプションは、パッケージに直接追加する 1 つ以上のフィールド バリデータを選択する場合に役立ちます。

[すべて] および [キャプチャ] フィルタを使用してパッケージに項目を追加するための検索を実行した場合、またはパッケージを比較、インポート、またはエクスポートした場合は、フィールド バリデータが含まれます。

## キャプチャ アイテムのコピー

フィールド フォーマッタ、フィールド バリデータ、およびキャプチャ プロファイル (ドキュメント変換、スキャン/MRS、PDF、分割) のコピーを作成できるようになりました。

これらのキャプチャ アイテムのリスト ページに移動すると、コンテキスト メニューの [コピー] オプションが使用できます。

## フォルダ変数: 正しい階層の表示

フォルダ変数を作成または編集する場合、フォルダ タイプを選択すると、子フォルダ タイプが正しい階層に表示されるようになりました。

## ドキュメント/アクティビティ バリエーション: 正しい階層の表示

ドキュメントおよびアクティビティ バリエーションを作成または編集するときに、ドキュメントまたはアクティビティ バリエーション リストで抽出グループを展開すると、子ドキュメント タイプが正しい階層に表示されるようになりました。

## ノード ID を返す例外へのノード名の追加

以下の例外のいずれかにプロセス マップを関連付けると、(現在の初期値パラメータ リストの末尾で) 初期値パラメータとしてノード名を指定できるようになります。例外が発生すると、実行時に、[初期化データ] の下に他の初期値パラメータとともに正しいノード名が表示されます。

- EXP0009 - 失敗したスクリプト オブジェクト
- EXP0018 - 使用可能なリソースなし
- EXP0019 - .NET オブジェクトが失敗しました
- EXP0020 - Web Service が失敗しました
- EXP0022 - C# スクリプト アクティビティが失敗しました
- EXP0023 - VB .NET スクリプト アクティビティが失敗しました
- EXP0025 - データ アクセス アクティビティが失敗しました
- EXP0036 - 転送アクティビティが失敗しました
- EXP0038 - 自動アクティビティが失敗しました

## 保持ポリシーの強化

柔軟性を追加することで、ドキュメントが保持ポリシーの削除の対象になるタイミングをより適切に制御できるようになりました。また、ドキュメント タイプごとに異なる保持ポリシーの時間枠を適用することや、保持ポリシーが失敗した場合に例外プロセスをトリガーすることができます。

これにより、保持ポリシーを使用して不要になったフォルダやドキュメントを削除できるため、データベース サイズをより効率的に管理できます。また、これはドキュメントの保持に関連する規制要件を満たす場合にも役立ちます。

## 保持ポリシーによる、オンライン学習用に送信されたドキュメントの削除

保持ポリシーにより、オンライン学習の一環として収集されたドキュメントが削除されるようになりました。オンライン学習ドキュメントは保持ポリシーでは保護されないため、削除されません。

## ジョブ スケジュールのロック解除

ジョブ スケジュールを強制的にロック解除できるようになりました。

[ロック ステータス検索] 画面では、[ジョブ スケジュール] で検索を実行できます。ジョブ スケジュールが検索結果として返された場合、コンテキスト メニューからロックを解除できます。

## 返されるアクティビティとジョブの最大数の設定

パフォーマンスの問題を防ぐために、システムから返されるようにする必要があるアクティビティまたはジョブの数を制限できるようになりました。TotalAgility 内のアクティビティまたはジョブのリストを取得すると、設定した制限が適用されます。

### 返されるアクティビティの最大数

既存の「返される作業キューの最大行数」設定のラベルが、[返されるアクティビティの最大数] に変更されました。この設定は、[システム] > [システム設定] > [システム] > [全般] に移動されました。

この設定の最大値は 200 に更新されました。

TotalAgility 7.8.0 にアップグレードすると、現在の「返される作業キューの最大行数」設定が 200 を超える場合、名前が変更されたプロパティ [返されるアクティビティの最大数] が 200 に更新され、200 未満の場合は現在の値に設定されます。

### 返されるジョブの最大数

同じセクションで、[返されるジョブの最大数] の設定を利用できます。この設定のデフォルト値は 200 で、最大値は 500 です。

## 一時停止されたジョブの例外

TotalAgility 7.8.0 以前では、一時停止されたジョブに対して、.NET ノードの失敗、Web サービスの失敗などの各アクティビティ タイプをユーザーがマッピングする必要がありました。

新しい例外 [自動アクティビティが失敗しました] が、[システム] > [システム設定] > [プロセス] > [例外] で利用できます。この例外プロセスは、アクティビティ タイプに関係なく起動できます。

## アクティブなマシンの確認

[システム] > [システム設定] > [システム] > [全般] で利用可能な [ハートビートの非アクティブ間隔] の設定を使用して、現在アクティブなサービス (Core Worker、エクスポート サービス、Transformation Service) の記録を表示できるようになりました。

Core Worker、Transformation Service、またはエクスポート サービスがこの間隔を過ぎても非アクティブのままである場合、「マシン名」テーブル内の対応するエントリのステータスは「非アクティブ」として更新されます。(デフォルト: 60 分、範囲: 最小 = 1 分、最大 = 1 日)

注 この機能は、オンプレミス マルチテナント環境および Azure 環境の TotalAgility ではサポートされておらず、オンプレミスの TotalAgility でのみサポートされます。

## システム設定検索

システム設定内に新しい検索オプションが追加され、アイテムを簡単に見つけることができるようになりました。

テキストを入力して検索すると、そのテキストを含むすべての設定が返されます。検索結果から設定を開いて更新することができます。

## TotalAgility Designer での手動ジョブ アーカイブのプロンプト

[システム] > [システム設定] > [データベース、保持、およびレポート] > [データベース設定] で [アーカイブ モード] を [手動] に設定すると、誤ってオンにしてしまうことがないように警告が表示されるようになります。手動アーカイブは、選択の確認後にのみ開始されます。

## Transformation Designer

### OmniPage 認識エンジン

新しい認識エンジンを、ページとゾーンの認識に利用できるようになりました。このエンジンは Transformation Designer とともにインストールされ、新しい認識プロファイルを作成するときのデフォルト エンジンとなります。

この認識エンジンは、Kofax TotalAgility の次のリリースで廃止される RecoStar および FineReader 認識エンジンの代わりとなるものです。

### 段落検出

認識の一部として段落検出を有効にして、検出された段落にドキュメントをセグメント化することができますようになりました。その後、Classification Locator は、各段落を分類してクラスを割り当てます。検出された段落は XDocument に保存されるため、スクリプトを介してアクセスすることができます。

ドキュメントの段落テキストをドキュメント ビューアでなぜならで囲んで、そのドキュメントを新しいサンプルとして分類トレーニング セットに追加できます。

### テーマ ロケーター - 自然言語処理

この新しいロケーターは、自然言語処理エンジンを使用して、ドキュメントのテーマまたはトピックを抽出します。この情報は、スクリプトによるカスタム分析に使用できます。

### サマリー ロケーター - 自然言語処理

この新しいロケーターは、自然言語処理エンジンを使用して、その構成に基づいて、ドキュメント、ページ、または領域の概要を抽出します。このロケーターは概要を含む単純なフィールドを返すため、このフィールドをスクリプトで使用してその概要をデータベースに格納したり、別の方法で表示したりすることができます。このロケーターを使用することで、ユーザーは各ドキュメントを個別に取り出すことなく、複数のドキュメントの概要を確認できます。

## Message Connector

### 追加ログの有効化

KFXConverter 設定の GENERAL セクションに新しいパラメータ DebugLog が追加されました。True に設定すると、エラーまたは例外が発生した場合に KFXConverter は追加のトレース ステートメントを KFXConverter.log ファイルに記録します (デフォルト = False)。

### IMAP のサブフォルダのポーリング

IMAP インポート ソースを構成するときに、[サブフォルダのポーリング] チェック ボックスを使用して、特定のメールボックスのサブフォルダをポーリングできるようになりました。これは、マルチインスタンス モードで IMAP メールボックスをポーリングする場合には適用されません。

### スケーリング サイズの追加

受信ファイルを TIFF に変換するようにドキュメント変換プロファイルを構成する際に、「スケーリング 範囲」フィールドの追加のスケーリング サイズが使用できるようになりました。

### TLS 1.3 のサポート

セキュリティ標準をアップグレードするために、Message Connector の構成に TLS 1.3 のサポートが追加されました。また、TLS 1.3 をサポートするように OpenSSL が更新されました。

### NTLM を使用した認証

EWS インポート ソースを構成するときに、[NTLM 認証の有効化] オプションを使用して、NTLM による認証を有効にできるようになりました。NTLM 認証は、Exchange オンプレミス サーバーでのみ使用できます。

### RightFax REST Web API に追加されたサポート

RightFax's の REST Web API を使用して、RightFax サーバーからのメッセージをポーリングするように TotalAgility を構成できるようになりました。RightFax サーバー バージョン 16.4 以降では、クライアントの REST Web API がサポートされています。

さらに、RightFax Message Connector コンピュータにクライアントをインストールする必要がなくなりました。

### 1 つの Message Connector を持つ複数のインポート ソース

FOIP および SMTP インポート ソースを単一の Message Connector 接続に接続し、メッセージをポーリングできるようになりました。

## TotalAgility コンピュータ上の複数の Message Connector

TotalAgility を実行しているコンピュータに最大 3 つの Message Connector のインスタンスをインストールできるようになりました。詳細については、『Kofax TotalAgility インストール ガイド』を参照してください。

## 1 つのインポート接続での FOIP と SMTP の構成

同じインポート接続で FOIP と SMTP を有効にすることができるようになりました。

## MS Graph のセキュリティ強化

MS Graph 接続のセキュリティを向上させるために、「テナント ID」フィールドと「クライアント シークレット」フィールドが MS Graph インポート ソースに追加されました。

## アーカイブ内のフォルダの無視

Message Connector の構成で、インポートする必要のない圧縮ファイルの一部であるフォルダ名のリストを指定できるようになりました。\_\_MACOSX、hex、\*hex、h\*exのように、フォルダ名の最初、最後、または任意の場所にワイルドカードを使用できます。

## ドキュメント変換アクティビティごとの高度な変換設定

ドキュメント変換プロファイルの構成時に、ドキュメント変換アクティビティごとに高度な変換設定を構成できるようになりました。

## XLS、CSV での列の自動サイズ変更のサポート

列のサイズは、XLS および CSV ファイルで自動的に拡大されてから、TIFF/PDF に変換されます。これにより、XLS または CSV ファイルの変換時に、列のサイズが小さいためにデータが失われることがなくなりました。

## ローカライゼーション

以下のアイテムはローカライズされ、日本語で利用できるようになりました。

- Message Connector の構成
- Message Connector ヘルプ

## 第 3 章

# 動作の変更

この章では、以前のリリースから変更された製品の動作について説明します。

## サポートが終了したオペレーティング システム

- Windows Server 2008 R2
- Windows 7

## Adobe Experience Manager 出力サービス URL

Adobe Experience Manager Output サービスの URL は次のように更新されました。

`http://<サーバー名>/soap/services/OutputService?blob=base64`

## Designer のナビゲーション: セクションを折りたたむ

リソース、プロセス、フォームなど、複数の異なるタイプの項目を操作する場合に、メニューをスクロールする必要がなくなりました。

セクションが開いている状態で別の最上位の項目を選択しているときに別のセクションを展開すると、現在のセクションが閉じて、新しく選択したセクションが展開されます。

## Web サービス統合における認証の表示方法の更新

Web サービス参照を追加する際に、統合に関する用語が認証を行うことをより明確に示すようになりました。

- ユーザー資格情報ラベルが認証に変更されました。
- [いいえ] のラジオ ボタンは、[なし] に変更されました。
- [はい] のラジオ ボタンは、[ベーシック] に変更されました。

これは、SOAP、SOAP WCF、および RESTful Web サービスに適用されます。

## シミュレーション関連のプロパティ

アクティビティ、決定、および終了ノードの [アクティブになる確率] プロパティは使用できなくなりました。また、シミュレータ データベースおよびシミュレータ関連の SQL スクリプトは、新規またはアップグレードされた TotalAgility インストールでは使用できなくなりました。

## KM MFP のシステム タスク

KM MFP - KM FTPFetch のシステム タスクは、FTP と WebDAV をサポートするため、KM FilesFetch に名前が変更されました。

## 同期アクティビティが失敗しました - EXP0027 例外

同期アクティビティが失敗しました - EXP0027 例外は、TotalAgility Designer で使用されなくなりました。

## システム クエリ/チャート

チャート コントロールの構成で、「グループ化の基準」リストの [設計アクティビティ タイプ] オプションが削除されました。同じ機能は、[アクティビティ タイプ] オプションで処理されるようになりました。

## 新しいデータベース スクリプト

Replication\_Reporting\_Staging.sql および Replication\_Reporting\_Warehouse.sql は、TotalAgility インストール メディアの次の場所にあるレポーティング データベース レプリケーション用に追加されたサンプル スクリプトです。

```
\\TotalAgility\TotalAgilityInstall\DatabaseScripts\SQL Server\Reporting
```

## 値を元に戻す機能が削除されました

以前は、プロセス、フォーム、アクティビティ、カスタム サービス、パッケージ、ソリューション、ナビゲーション、およびフォーム コントロール名に無効な値を入力すると、値は最後に入力した有効な値に戻りましたが、この機能は削除されました。

## 非推奨となった機能または削除された機能

次の機能または要件は、TotalAgility 7.8.0 では非推奨となったか、あるいは削除されました。

### 自動割り当ておよび割り当てアルゴリズム

リソースへのアクティビティの自動割り当てと割り当てアルゴリズム設定は、TotalAgility Designer のプロセス プロパティとシステム設定から削除されました。

### RecoStar および FineReader エンジン

RecoStar および FineReader エンジンは非推奨となり、Kofax Transformation Modules の今後のリリースで削除されます。代わりに、Kofax Omnipage エンジンを使用することをお勧めします。

### コラボレーション ノードとメッセージ フロー

プールとレーンのコラボレーション ノードとメッセージ フローはサポートされなくなりました。

## 削除予定の機能

次の機能は、TotalAgility の次のリリースで削除される予定です。したがって、これらの機能の使用を中止することをお勧めします。

- Visio アドイン
- Outlook アドイン
- SharePoint Web ページ
- プロセス: ドキュメント セット

## 第 4 章

# 解決された問題

この章では、Kofax TotalAgility 7.8.0 で解決された問題について説明します。

## 抽出グループのリリースに関する問題

**[1465790:]**TotalAgility 7.6.0 では、7.4.0 からインポートされた抽出グループをリリースできませんでした。TotalAgility 7.4.0 では特殊文字が許可されていたため、制限されないこれらの特殊文字がリストされたアラートが表示されていました。

## グローバル フィールド バリデータが正しい順序で実行されない

**[1461084:]**無効なフィールド値を持つドキュメント タイプをグローバル フィールド バリデータを使用して検証した場合、この検証が定義した順序で実行されず、フィールドで定義した順序でレコードが取得されていませんでした。

## フォームの小数点区切りカンマの問題

**[1459987:]**値がデータベースにドイツ語で挿入された場合に、カンマ小数点区切りが SQL エラーに追加されていました。

## 非表示のセルのラジオ ボタン リストによる検証の発生

**1456959:**[検証を引き起こす] プロパティが有効になっているフォームのラジオ ボタンをクリックすると、親コントロールが非表示であっても、コントロールが検証されていました。

## Agility.Server.StreamingService.exe の失敗

**1456443:**次のエラーでストリーミング サービスが失敗し、イベント ログに記録されていました。

HTTP Error 503. The service is unavailable が発生し、クラッシュ。

## ジョブ リスト コントロールのエラー

**1455279:**ジョブ リスト コントロールを作業タイプで構成し、構成した作業タイプのメタデータ フィールドにフィルタを作成した場合、次のエラーが表示されていました: [作業タイプ] フィールドは存在しません。

## コントロールの列の幅が正しく表示されない

**[1449376:]**ジョブ リストと作業キュー コントロールでパーセント モードを使用するように構成している場合、パーセント幅ではなく固定幅が考慮されていました。

## SharePoint でメタデータが設定されない

**[1448400:]**項目の追加アクティビティによって Microsoft SharePoint を使用してドキュメントをアップロードすると、ドキュメントはアップロードされても、メタデータ (列) が設定されていませんでした。

## Message Connector ドキュメント内の情報の欠落

**[1446000:]**MS Graph を使用してメールをポーリングするには「allowPublicClient」パラメータを True に設定する必要があるという記述が Message Connector のドキュメントに欠落していました。

## CreateJobInCase: 評価に失敗しました

**[1443335:]**CreateJobInCase を使用してジョブを作成した場合、このジョブで式の自動アクティビティの評価が試行されると、次のエラーが表示されていました。「評価に失敗しました: 再試行回数 0、失敗の理由: オブジェクト参照がオブジェクト インスタンスに設定されていません。」

## PNG ファイルのイメージ処理アクティビティの問題

**[1442788:]**イメージ処理アクティビティを使用して PNG ファイルを処理すると、次のエラーで一部のファイルが拒否されていました。「インポート ファイルはサポートされていない形式です。」

## GetJobVariable メソッドの問題

**[1441647:]**GetJobVariable メソッドをフォームから呼び出し、ジョブ変数をテーブルに保存する場合に、変数値と変数タイプ ID が同時に取得されていませんでした。実行時には、1つの列と値のみが入力されていました。

## バーコード値とチェックサム

[1441234:]デフォルトでは、アスタリスクを含む Code39 バーコードが、デフォルトの FineReader 認識設定では認識されていませんでした。

## TDS モデルの失敗

[1399142:]Transformation Designer プロジェクトでトレーニング可能なドキュメント分割 (TDS) が、ドキュメントを分類および分割しませんでした。

## 前提条件ガイドのフォルダのアクセス許可パスが正しくない

[1384276:]TotalAgility 前提条件ガイドで、フォルダのアクセス許可パスが ProgramData フォルダではなく AppData フォルダを参照していました。

## ドロップダウン リスト コントロールの問題

[1383801:]ドロップダウン リスト コントロールで、テキスト フィールドに大量のテキストを入力すると、値フィールドが上書きされていました。

## PDF から TIFF への変換に関する問題

[1383499:]注釈付きの PDF ファイルを TIFF 形式に変換すると、例外が表示され、プロセスが失敗していました。これは、[Adobe LiveCycle を使用して XFA フォームを PDF/A ドキュメントにフラット化する]を選択している場合に発生していました。

## ジョブの評価の失敗

[1382267:]リソースの除外に使用されている動的リソース文字列に重複するリソース ID が含まれる場合、データベース エラーによりジョブの評価が失敗していました。

## テーブル評価が機能しない

[1379761:]Transformation Designer プロジェクトのテーブル評価が正常に実行されていませんでした。

## セッション タイムアウトのアラート メッセージに改行タグが表示される

[1378791:]セッション アラート メッセージに、メッセージ内の実際の改行 (-) ではなく、改行タグ <br>が表示されていました。

## 継承の問題

[1375723:]Transformation Designer プロジェクトの子クラスのロケータの再読み取り設定が親クラスと異なる場合、抽出中に親の再読み取り設定が実行されていませんでした。

## ArchiveJobTask がタイムアウトする

[1372083:]タイムアウト後に ArchiveJob ワーカー タスクがリセットされるため、同じジョブが同時に複数回アーカイブされ、(アーカイブされた大量のジョブ履歴により) ワーカー タスクがタイムアウトになった後もスレッドが実行されたままになっていました。終了済みジョブのアーカイブ中にエラーが発生し、前のタスクがすでにメモリ内でアクティブとなっても、アーカイブ タスクはリセット後に再度実行されていました。

## 再生成されたアクティビティ フォームに関する問題

[1372991:]再生成された新しいアクティビティ フォームによって、コントロール ID が再生成されていませんでした。その結果、元のフォームと再生成されたフォームに同時にアクセスすると問題が発生していました (フォーム キャッシュを有効にした場合)。

## Message Connector の winmail.dat ファイルの解析に関する問題

[1372620:]TNC\_Tnef モジュールは、「Microsoft Tnef (winmail.dat) サポート」コンポーネントが実行されている場合でも、winmail.dat ファイルを解析して PDF 添付ファイルを抽出できていませんでした。

## PATHEXT 環境変数で .BAT パラメータが欠落する

[1372527:]PATHEXT 環境変数で .BAT パラメータが欠落していたため、Kofax Message Connector (KIC-ED-MC) サービスの起動が失敗し、エラーが返されていました。

## ジョブの評価中の null 参照

[1372374:]CreateJobInCase を使用すると、null 参照エラーが発生していました。

## deletejobhistory メソッドの履歴の記録で大きなジョブがチャンクされない

[1372072:]deletejobhistory メソッドの履歴の記録で大きなジョブがチャンクされず、多くの SQL リソースが消費されていました。これにより、アーカイブ ワーカー タスクが完了せず、DB の競合、一般的な DB タイムアウトおよびパフォーマンスの問題が発生していました。

## モバイル フォーム テーブルが表示されない

[1371309:]モバイル フォーム テーブルが表示されていませんでした。この問題は、最新の Chrome アップデートの結果として Chrome ブラウザでのみ発生していました。

## Data matrix バーコードの認識の問題

[1369734:]デフォルトでは、Transformation Designer プロジェクトの Data matrix バーコードは、デフォルトの FineReader 認識設定で認識されます。ただし、FineReader でデフォルトの設定を使用して Data matrix バーコードを認識できない場合は、スクリプトを使用してバーコード認識の可能性を高めることができます。

これは、DetectInvertedZones スクリプトを介して編集できるようになりました。

Data matrix バーコードが認識されるようにする場合は、BeforeLocate イベントに次のコードを追加します。

```
Private Sub Document_BeforeLocate(ByVal pXDoc As CASCADELib.CscXDocument, ByVal  
LocatorName As String)  
If(LocatorName = "BarcodeLocator") Then  
Dim Loc As CscBarcodeLocator  
Set Loc = Project.ClassByIndex(0).Locators.ItemByName(LocatorName).LocatorMethod  
Loc.DetectInvertedZones = False  
End If  
End Sub
```

## TotalAgility で Kofax RPA アクティビティが構成されている場合のエラー

[1368775:]RPC 接続が失敗し、その後 TotalAgility から RPA に対して行われた呼び出しにより、TotalAgility で次のエラーが発生していました。「[Begin] GetResponse を呼び出す前に、リクエスト

ストリームに ContentLength バイトを書き込む必要があります。」このエラーは、設計時および実行時に発生していました。

## プロセス マップを保存または解放できない

[1368732:]null 許容日付のデフォルト値が 1900 年 1 月 1 日または 1970 年 1 月 1 日より以前の場合、プロセス マップを保存または解放できませんでした。

## 問題のあるエラー メッセージ (ドイツ語)

[1363460:]カレンダー コントロールとキャプチャ フィールドのあるフォームで、ブラウザの言語をドイツ語に設定すると、次の問題が発生していました。

- 無効なデータ (たとえば、24.10.2019a) をカレンダー コントロールに入力してカーソルをフィールド上に移動した場合、ドイツ語に翻訳された日付形式が明らかに不正確な形式で表示され、
- 時間の入力がないため、カーソルを赤い感嘆符アイコンの上に移動しても適切なエラー メッセージが表示されませんでした。
- [キャプチャー] フィールドでは、センテンスの先頭の文字が大文字で始まっていませんでした。

## DB 接続結果画面で、DB 作成者アクセスが要求される

[1362423:]インストーラで (新しいデータベースを作成するのではなく) 既存のデータベースを上書きする場合、データベースへの接続に使用されるアカウントが DB\_OWNER ロールのメンバーではありませんでした。

## キャプチャ アクティビティ タイプがビジネス ルールに表示されない

[1359654:]ビジネス ルールにアクティビティを追加したときに、[タイプ] ドロップダウン リストにキャプチャ アクティビティが表示されていませんでした。

## ジョブを再開したときのアーカイブの問題

[1353673:]ジョブが完了または終了した後に再開すると、そのジョブはアーカイブされたまま [終了済みジョブ] テーブルに移動されました。

## 添付ファイルのソース ファイル名の欠落

**[1353531:]**フォルダ内のドキュメントを添付ファイルとして送信するために電子メール アクティビティを使用した場合、添付ファイルは正常に送信されてもその添付ファイルのファイル名は欠落し、ファイル拡張子しか表示されていませんでした。

## GetWorkQueueOverview API による SQL インジェクションの許可

**1353137:**GetWorkQueueOverview への ActivityFilter パラメータであるカテゴリ ID パラメータのテキストが、SQL インジェクションを許可する SQL クエリで直接使用されていました。

## フォーム セルに適用されないスタイル

**[1352075:]**カスタム スタイル シートがセルに適用されていませんでした。

## テーブルの列のマッピング時の問題

**[1346816:]**新しいアクションを作成した場合、ユーザーがフォームのブール値テーブル列をビット型のストアド プロシージャ パラメータにマッピングすることができませんでした。

## カスタム作業キューがエラーを返す

**[1344798:]**TotalAgility 7.5.0 で作業タイプを作業キュー コントロールにマッピングしている場合、7.6.0 にアップグレードした後にフォームで作業キューをロードすると、システムに関連プロセスのジョブがない場合でも「パラメータ カウントの不一致」エラーが発生していました。

## カテゴリ ドロップダウンのサイズの問題

**[1343599:]**解像度を 1366 x 768 に設定している場合、Findjobs.form の [クエリの編集] ウィンドウのカテゴリ フィールドが小さすぎるため、8 文字を超えるカテゴリ名はスクロールする必要がありました。

## アドバンスト エバリュエータの継承の問題

**[1343422:]**継承されたクラスのロケータ階層でアドバンスト エバリュエータの前にスクリプト ロケータが定義されていると、Transformation Designer が失敗していました。

## @ エスケープ文字を使用するとアップグレードに失敗する

**1343241:**式ノードで式の中に "@" を使用すると、TotalAgility 7.6.0 へのアップグレードが次のエラーで失敗していました。「Agility.Server.Common.ErrorHandling.UserException: 無効なルール: 終了していない文字列」。

## QR バーコードの認識

**[1342366:]**デフォルトでは、QR バーコードはデフォルトの FineReader 認識設定で認識されます。ただし、FineReader でデフォルトの設定を使用して QR バーコードを認識できない場合は、スクリプトを使用してバーコード認識の可能性を高めることができます。これは、AdvancedExtractionMode スクリプトを介して編集できるようになりました。

QR バーコードが認識されるようにする場合は、Transformation Designer の BeforeLocate イベントに次のコードを追加します。

```
Private Sub Document_BeforeLocate(ByVal pXDoc As CASCADELib.CscXDocument, ByVal  
LocatorName As String)  
If(LocatorName = "BarcodeLocator") Then  
Dim Loc As CscBarcodeLocator  
Set Loc = Project.ClassByIndex(0).Locators.ItemByName(LocatorName).LocatorMethod  
Loc.AdvancedExtractionMode = False  
End If  
End Sub
```

## ジョブの保持で、削除するケース フラグメントが見つからない

**[1337705:]**ケースの定義とケース フラグメントでジョブの保持が有効になっている場合、終了済みジョブ データベースからフラグメントが取得されないため、ジョブの保持によってケース フラグメントがパージされていませんでした。

## 必須アクティビティ フィールドに設定が誤って適用される

**[1336806:]**アクティビティ レベルのフィールドを必須として設定し、[未確認のフィールドがあっても確認を完了することを許可する] を [はい] に設定している確認アクティビティでは、ドキュメント/フォルダ フィールドにのみ適用されるのではなく、必須のアクティビティ フィールドに [検証 (確認) が未検証 (未確認) のフィールドを完了することを許可する] の設定が適用されていました。

## 文字列変数から byte[] パラメータへのマッピングの問題

**[1336721:]**文字列変数を入力または出力として byte[] 配列型にマッピングすることができず、文字列変数がフィルタに表示されていませんでした。

## ResetDefaults をクリックしてもデフォルト値がクリアされない

[1336633:] ドロップダウン リスト コントロール データで ResetDefaults をクリックすると、実行時にデフォルト値がクリアされず、以前に確認した値が保持されていました。

## ケース フラグメントを選択できない

[1336492:] 作業キュー コントロールまたは作業キュー クエリで、ケース フラグメントを選択することができませんでした。

## サブジョブで使用すると XML アクティビティが一時停止される

[1332511:] サブジョブで XML アクティビティを使用した場合、「自動アクティビティの実行中にエラーが発生しました」というエラーでジョブが一時停止していました。

## Message Connector の期限超過状態のパッシブ入力

[1330656:] 進行中のアクティブ ポーリング中に TotalAgility から「input list-rest」API を呼び出してパッシブ入力リストをリセットすると、パッシブ入力がドキュメントのインポートを妨げる「期限超過」状態になっていました。

## アクティビティ再割り当ての監査ログ エントリが正しくない

[1330581:] アクティビティ再割り当ての監査ログ エントリに、アクティビティを再割り当てしたリソース名ではなく、TotalAgility システム アカウントが表示されていました。

## アップグレード エラー メッセージに情報が表示されない

[1328637:] 無効な式を含む決定ノードをプロセスで使用した場合、アップグレードに失敗したルールのプロセス名、バージョン、ノード名を含む適切なエラー メッセージではなく、誤ったエラー メッセージが表示され、TotalAgility のアップグレードが失敗していました。

## DBQuery アクシオンで行のカウントを使用できない

[1328154:] フォームで、DBQuery アクシオンを使用して集計関数の行のカウントを取得すると、利用可能な列を 1 つ以上選択している場合でも、「少なくとも 1 つの列を選択してください」というエラーメッセージが表示されていました。

## 作業キュー クエリの作業タイプ日付フィールドの問題

[1327982:]日付フィールドを持つ作業タイプをプロセスにマッピングし、作業タイプ クエリで作業キュー コントロールを初期化すると、実行時に作業キュー クエリの作業タイプ日付列が長い日付形式で表示されていました。

## リダイレクト アクションの問題

[1327650:]リダイレクト アクションで、初期化変数がキャプチャ テーブルのドキュメント フォームに正常にマッピングされていても、変数を変更 (マッピング解除および再マッピング) しようとする、[オブジェクト オブジェクト] が表示されていました。

## ドキュメントの取り込み後のフィールドの欠落

[1327369:]Microsoft Word ドキュメントを TotalAgility にインポートした場合、元のドキュメントの計算フィールドの値が出カイメージに「ゼロ」と表示されていました。

## アンパサンドを含むテキスト文字列の問題

[1325490:]テキスト文字列にアンパサンドが含まれる場合、ポップアップ ウィンドウに渡される時に文字列がアンパサンドで切り捨てられていました。たとえば、「Shipping & Handling」は「Shipping」というように切り捨てられていました。

## 自動生成されたドキュメント フォームに関する問題

[1324937:]ドキュメント タイプ名が 80 文字を超える場合、自動生成ドキュメント フォームでジョブを作成することができませんでした。

## キャッシュされたフォームに関する問題

[1324593:]フォームのキャッシュを有効にすると、表示ルールの適用時に問題が発生していました。

## ドロップダウン リストの表示の問題

[1324379:]ドロップダウン リストを展開し、値を選択して垂直方向にスクロールしたフォームで、展開したドロップダウン リストが画面の同じ位置にとどまっていた。

## 自然言語処理の信頼度の問題

**1321559、1320959:** Transformation Designer の代替となる自然言語処理の信頼度が、見つかったすべての言及の平均信頼度と一致していませんでした。

## 自然言語処理ロケータのエラー

**1321411、1320885:** 以前のリリースでは、ページ上に領域を描画しても、その領域をテストまたは使用することができなかつたため、Transformation Designer プロジェクトでエラーが発生していました。

## Microsoft Edge での大きなデータ パッケージの抽出に関する問題

[1317244:]Microsoft Edge ブラウザを使用して 100 MB を超えるデータ パッケージを抽出すると、プロセスが遅延し、継続的な読み込みメッセージが表示されていました。

## 名前付きエンティティ ロケータの強調表示の問題

**1317047、1317053:** 名前付きエンティティ ロケータで、複数のインスタンスのうちの最初のインスタンス、あるいは最も高い信頼度を持つインスタンスが強調表示されていませんでした。これにより、最下位のインスタンス (多くの場合、不正確) が代替テキストおよび座標として使用されるという問題が発生していました。

**1317027、1317030:** 名前付きエンティティ ロケータをテストすると、[テスト結果] タブで [テスト] ボタンを押すたびに、すべての代替ロケータがドキュメント ビューアに表示されていました。

## 名前付きエンティティ ロケータにエンティティがない

**1317021、1317033:** Transformation Designer プロジェクトで Transformation Designer に対して抽出を実行すると、エンティティの完全なリストが適切に抽出されていませんでした。

## 名前付きエンティティ ロケータにスクロール バーがない

**1317020、1317037:** スクロール バーが適切に表示されていませんでした。

## トレーニング抽出での不要なウィンドウ

**1315675、1246992:** ドキュメント セットにドキュメントが存在しない場合にそのドキュメント セットに対して抽出トレーニングを実行すると、進捗バー ウィンドウが表示されませんでした。

## エンティティの抽出に失敗する

**1313696、1320629:** クラス レベルで言語が構成されていない場合でも、ロケーターの [テスト] ボタンが有効になっていました。

## テーブル ロケーターの問題

**[1280195:]** Transformation Designer プロジェクトのテーブル ロケーターで、テーブルの最後が見つかった後に抽出された行が無視されていませんでした。

## セクションのサインイン パスワードによるフォルダのインポートの問題

**[1290618:]** フォルダ インポート ソースが構成されていてユーザー アカウントにセクション記号「§」が含まれている場合、[フォルダ インポートのテスト] ボタンをクリックすると、ログイン エラーが発生していました。

## テナント データベースの問題

**[1275779:]** オンプレミス マルチテナント環境で 1 つのテナントのデータベースがダウンすると、他のテナント (特に他のテナントがオンラインに戻るまでに処理されなかった変換アクティビティ) が影響を受けていました。

## GetWindowsUser() が分散システムでアプリ プール ユーザーを返す

**[1155764:]** GetWindowsUser() が呼び出された場合に単一マシンのインストールではログオン ユーザーが正しく返されても、分散インストール (個別の Web サーバーとアプリ サーバー) で呼び出された場合は、ログオンしたユーザーの代わりにアプリ プール ユーザーが返されていました。

## プロセス マップに公開されていないドキュメント セットとの関連付け

**[1152375:]**ドキュメント セットで使用されたプロセス マップをエクスポートまたは削除しようとした場合、このプロセスを使用するにはプロセスの関連付けを解除する必要があることを通知するエラー メッセージが表示されていませんでした。

## HP FutureSmart 4 MFPs: 紙詰まりを修正した後の空の画面

**[1152074:]**スキャン アクティビティのショートカットにドキュメントを送信する場合、紙詰まりを修正した後に Kofax のメイン メニューの代わりに空の Kofax ウィンドウが表示されていました。この問題は、スキャンを再開するために [開始] を押してからスキャンの完了後に [完了] を押し、ジョブをキャンセルするために [キャンセル] を押してから [メッセージ センター] ウィンドウを閉じるために [終了] または [戻る] を押したときに HP FutureSmart 4 MFPs で発生していました。

## FAX インポート ソースに関する Internet Explorer の問題

**[1130665:]**ユーザー数が非常に多い場合、RightFax サーバーでユーザーを選択すると、FAX インポート ソースの構成中に Internet Explorer が失敗していました。

## ドイツ語の言語パックをインポートしたときの問題

**[1080994:]**ドイツ語の言語パックをインポートした場合に、JobDetailsProperties.form のドイツ語翻訳がアクティブになっていませんでした。

## スキャン アクティビティを使用した分割ログインで有効なエラーが表示されない

**[911996:]**Lexmark eSF および Emulator では、ドキュメントまたはフォルダが作成されなかった場合に埋め込みプロセスからスキャン アクティビティを取得すると、分割ログインではエラーが表示されません。しかし、Emulator で [送信して終了] をクリックすると、Lexmark では、説明的なエラー メッセージの代わりに「アプリケーションが応答しない」または「ユーザーはスキャン可能、Web サービス例外」が表示されていました。

## 第 5 章

# 既知の問題

この章では、TotalAgility 7.8.0 の使用中に発生する可能性のある問題について説明し、必要に応じて回避策を提供します。

## Canon ScanFront デバイスでのスキャン時のエラー

**[1497695:]**TotalAgility が Docker コンテナにインストールされている場合、Canon ScanFront デバイスでスキャンすると、次のエラーが表示されます: 「パラメータが無効です。パラメータを確認してください。」

回避策: TotalAgility デバイスで次の詳細設定を行います。

- ProxyServer: TotalAgility Docker の IP アドレス
- ProxyServerPort: 5000 (Docker サーバーのポート アドレス)

## ネットワーク ケーブルが接続されていない場合、HP MFPs でジョブ ステータスが更新されない

**[1465869:]**HP M577 MFPs で大きなジョブをスキャンすると、ネットワーク ケーブルが接続されていない場合にジョブが送信中ではなくても、ステータスに [送信中] と表示されます。

## 統合の関連付けの表示に関する問題

**1418788** 以前のバージョンの TotalAgility から 7.7.0 で構成された以下の統合ノードをインポートする場合に、プロセス (すべてのタイプ) を再構成して、プロセスの関連付けを表示する必要があります。

- CMIS - すべてのノード
- SharePoint - フォルダの作成ノード
- Micro Focus Content Manager - すべてのノード
- Dynamics CRM - Dynamics CRM ノード
- CMIS - すべてのノード
- Web サービス - RESTful サービス タイプ

## A2iA Document Reader のパフォーマンスの低下

**1252327:** Transformation Designer プロジェクトの OCR 処理中に A2iA Document Reader 認識エンジンを使用すると、パフォーマンスが低下します。

## パスに「totalagility」が指定されている場合の HP クライアントの問題

**[1202067:]**HP クライアント登録ツールで HP クライアントを登録するときに、パスとして「totalagility」と入力すると、オンプレミス マルチテナント環境でのログオンで問題が発生します。ログオン画面が完全に表示されず、個人的なショートカットをクリックしても機能しません。

回避策: HP Client Registration ツールでパスとして TotalAgility (大文字と小文字に注意) を入力すると、HP クライアントが正しく動作します。

## Lexmark イメージプレビューで [削除] ボタンに一貫性がない

**[800873:]**Lexmark イメージプレビューの [削除] ボタンは、ドキュメントのスキャン方法によっては、動作に一貫性がありません。ドキュメントがフラットベッドでスキャンされている場合に [削除] を押すと、そのイメージが削除されます。ADF からドキュメントをスキャンしている場合に [削除] を押すと、ジョブ全体がキャンセルされます。

## OCR エンジン/言語の手書きのサポート

OCR エンジン (FineReader および OmniPage) では、Capture および MFP スタート パックでの手書きの日本語文字がサポートされていません。